

# 2016年環境活動報告

(2015年4月～2016年3月)

## 環境対策・取り組み

### ◆ 地球温暖化防止自主行動計画

- ①常に、前年度よりも温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)の総量削減を目指し、排出数値管理や運用取り組みを行います。
- ②パルシステムグループの一員として、温暖化防止自主行動計画(S-17)に参加し、グループ全体で目標達成に取り組みます。
- \*目標：2020年までに、2005年比で17%削減(26,948t-CO<sub>2</sub>)
- ③地域性・独自性などの特色ある取り組みにより、地域・組合員またパルシステムグループ、社会全体での温暖化防止・環境取り組みの推進に貢献していきます。

パルシステム山梨では2009年8月に地球温暖化防止自主行動計画を策定し、二酸化炭素排出量の総量削減に向けた取り組みを進めてきました。2012年度中期削減目標年を終え、計画の検証を行い、2013年10月に対象・電気の換算係数を含めた見直しを行いました。また「山梨県地球温暖化対策条例施行規則」一部改正に伴う温室効果ガス排出抑制計画の提出(トライアル事業者として)も行いました。

2015年度の取り組み結果は以下のようになりました。

二酸化炭素排出量(電気・燃料・施設ガス)	618,756kg-CO <sub>2</sub>
「やまなし森の紙」使用に伴うCO <sub>2</sub> 削減量	△1,000kg-CO <sub>2</sub>
グリーン電力証書によるCO <sub>2</sub> 削減量	△4,230kg-CO <sub>2</sub>
自主取り組みによるCO <sub>2</sub> 削減量	△476kg-CO <sub>2</sub>
合計	613,050kg-CO <sub>2</sub>

※電気のCO<sub>2</sub>換算には係数0.423を使用

2015年度の二酸化炭素排出量は前年比98.2%と減少しました。配送コース編成や、車両入れ替え等で、燃料の排出が前年比97.7%と減少したことが主な要因です。

### ◆ 「やまなし森の紙」使用に伴うCO<sub>2</sub>削減

地元山梨の県有林の有効活用と、県内林業・紙業への波及効果を期待し、2011年11月より、FSC森林認証紙のコピー用紙「やまなし森の紙」を利用しています。やまなし森の紙推進協議会さんのご尽力により、2014年度のA4・A3の同用紙利用について、環境省カーボン・オフセット第三者認証基準に基づくラベルが添付され、1箱あたり、1kg-CO<sub>2</sub>の山梨県県有林の間伐等の森林経営により創出された排出削減・吸収量が付与され、今年度1トンのCO<sub>2</sub>削減(=付与量からの無効化申請)を行いました。

※2014年度のパルシステム山梨でのコピー用紙使用での付与は1,062kg-CO<sub>2</sub>



森の紙使用でのCO<sub>2</sub>削減証明書

### ◆ エコ通勤

化石燃料消費に大きく関わる自動車交通の抑制、地球温暖化防止への貢献、周辺地域の渋滞緩和、健康増進などを目的とし、自転車・歩行通勤の奨励制度として2008年より開始しました。事業所から往復10km以内の職員・定時職員を中心に実践しています。

2015年度の結果

参加者	延べ26名
ガソリン削減量	205.2リットル
二酸化炭素削減量	476.1kg-CO <sub>2</sub>

※ガソリン1リットルの燃費を9kmとし、CO<sub>2</sub>換算係数は2.322kg-CO<sub>2</sub>(日本生協連合会自主行動計画ガソリン係数)を使用。

## ◆2015年度 太陽光発電実績

計測機器の故障もありましたが、それ以外でも天候の関係もあり、前年を下回る発電量でした。

	本部	甲府C	一宮C	西桂C	合計
公称最大出力 (kW)	3.19	10	3	52.3	68.49
発電量 (kWh)	2,648	6,965	4,219	58,721	72,553
売電量 (kWh)	178	—	—	45,838	46,016
CO <sub>2</sub> 削減量 (kg-CO <sub>2</sub> )	1,120	2,946	1,785	5,450	11,300

※電気のCO<sub>2</sub>換算には係数0.423を使用しました。

※西桂Cの発電量は全量売電42.3kWと、自家消費10kWを加算した量です。CO<sub>2</sub>削減量は自家消費分のみです。

※甲府Cでは、計測機器の故障により、半年分のデータが欠損しています。

## ◆2015年度環境目標結果

項目	利用率(%)	コピーカウント(枚)	菜種油おすすめ(本)
取り組み	通年	通年	9月
対象	センター	本部	センター
目標	83.1	372,767	2,310
実績	83.5	361,731	2,906
達成率	100.5%	103.1%	125.8%
達成状況	○	○	○

※達成状況（「○」は達成率100%以上）

パルシステムの利用が環境配慮商品やリユース・リサイクル促進につながることから、事業と連動した目標設定として「利用率」を通年で、また非遺伝子組み換えの環境保全訴求商品として「菜種油」のおすすめに取り組みました。管理部門等の多い本部事務所では印刷の見直しなどで紙の使用枚数削減に取り組みました。

## ◆緑のカーテン

緑のカーテンは、つる性植物を育て、窓辺や壁面を覆うことにより、日差しを遮ったり、葉の気孔からの水分蒸散によって暑さを和らげてくれます。また室温の上昇も抑えることができます。

2015年度も、本部事務所と3つの配送センターで取り組みました。

## ◆環境社会検定試験（eco検定）受験

パルシステム山梨では、幅広い環境の基本的知識を身につけるべく、積極的に、環境社会検定試験（eco検定）の受験・資格取得を推奨しています。現在30名の職員がエコ・ピープルとなっています（職員の53.6%）。

## ◆廃食油回収と菜の花プロジェクト

バイオディーゼル燃料事業は2013年3月末で終了しましたが、引き続き、組合員さんからの廃食油回収（県内NPO法人に提供）を行っています。また市民団体との活動として「バイオネットやまなし」による、田富みかさ幼稚園園児との菜の花の種の収穫（6月）や市町村・団体と連携した「廃食油回収キャラバン（7月、3月）」への参加を通し、資源再利用への取り組みを広めました。

\*2015年度組合員さんからの廃食油回収量：6,200リットル

## エネルギー政策推進に関する取り組み

パルシステムグループでは東日本大震災に伴い発生した、東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、2012年1月「パルシステムのエネルギー政策」を定め、グループ全体で取り組みを進めています。

- ・「減らす」節電と省エネ、効率化と最適化によってエネルギー消費をいっそう減らします。
- ・「止める」速やかに脱原発を実現します。
- ・「切り替える」原発への依存に替えて、再生可能エネルギーを急速に普及させます。

パルシステムは「協同の力」で生活者がエネルギーを選択できる社会を実現します。

### ◆大潟村再エネ取り組み“つながり”応援カンパ

これまで、米産地としての産直のつながりから、村との関係性へ発展してきた経過を踏まえ、大潟村での地域に密着したエネルギー事業展開となる太陽光発電事業に対し、パルシステム連合会と共に、資本参加協力を行いました。

山梨では、㈱大潟共生自然エネルギー（村が中心となり設立）を講師に招いての、取り組み学習会を開催し、理解を深めるとともに、組合員さん向けに「大潟村再エネ取り組み“つながり”応援カンパ」に取り組み、95名から157,000円の応援カンパをいただきました。カンパに対し、取り組み報告と合わせ大潟村特産の「パンプキンパイ」をお届けしました。



カンパへのお礼特産品と報告文

### ◆意見書・パブリックコメント等の提出

政府に対し、「長期エネルギー需給見通し（案）」について、また「小売電気事業の登録申請等に関する省令案」へのパブリックコメントをそれぞれ提出しました。

### ◆電力の小売り自由化に向けて

2016年1月に環境委員会主催で「電力小売自由化 - 私たちの選ぶで社会が変わる!?-」と題し、公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NACS)常任顧問の辰巳菊子さんを講師にお招きし、電力小売自由化という社会的状況に向き合うための視点について学ぶ企画を開催し、110名の参加がありました。

パルシステムグループとしては、再生可能エネルギーの販売に向けた検討として、2016年3月より子会社「パルシステム電力」で本格的に準備展開を開始しました。家庭への小売りとしては、2016年度後半には先行的に一部地域において実験展開を目指しています。



辰巳菊子さんによる講演の様子

### ◆「うちエコ診断」

環境省が実施する「家庭エコ診断制度」に基づき、専用のソフトを使い、実施機関（パルシステム連合会）の診断士が省エネ・省CO<sub>2</sub>対策をご提案するものです。山梨でも診断士2名を登録し、随時受付しています。

## その他の組合員活動、パルシステムグループと連携した活動

### ◆環境こどもまつり

2015年7月、8回目となる「環境こどもまつり」を開催しました。県内の環境団体などに呼びかけ、移動式プラネタリウム・マイ箸作り体験・ネイチャーゲーム・デポジット体験・紙漉きハガキ作りなどで、多くの親子に体験型で楽しんでいただきました。

### ◆田んぼの生き物観察～五町田エコロじい田んぼ塾

9家族が参加し、年間を通じてお米作りを体験しました。年間の田んぼ作業の合間に、田んぼの生き物観察等を行い、親子で生態系やその恵みについて理解を深めています。

#### ◆「森の産直」～南都留森林組合と森林分野での産直協定

パルシステム連合会では、日本の森林資源を保全し、持続可能な森づくりに貢献していくことなどを目的とし 2014 年 1 月、山梨県都留市の南都留森林組合と産直協定を締結しました。パルシステム山梨でも地元として産直協定に基づく会議参加などを進めています。2015 年度は、組合員さん参加による商品開発として、「南都留森林組合の間伐材を使った生活用品の開発」に取り組み、「めぐる森のプレートセット」として 2016 年 6 月の商品化につながりました。



山梨の組合員さんが開発協力した  
間伐材を使ったトレー

#### ◆エコドライブ運動

1998 年より、環境にやさしい運転を心がける運動に取り組んでいます。積み下ろしや駐停車時のエンジンオフ、キーチェーンの徹底、アイドリングストップに加え、「ふんわり発進」「早めのブレーキ」など、燃費に加え安全運転にもつながる運動として取り組んでいます。



リサイクルボトルの「水」

#### ◆リサイクルペットボトルの「水」取扱い

震災当時、被災地では水の確保が困難であった状況を教訓とし、ペットボトル (2 ライ X 6 本) による水の取り扱いを 1 月より開始しました。このペットボトルは、回収したペットボトルを原料とした 100% 再生資源の「ボトル to ボトル」となっています。利用普及とあわせ、組合員へペットボトル回収の呼掛けを行いました。

#### ◆出前講座

パルシステム山梨では、「自然派！おそうじ」「手漉きハガキ」「廃食油リサイクル」など環境関連の出前講座を行っています。2015 年度は 29 回の開催となりました。

### 諸団体と連携した取り組み

#### ◆山梨県生協連

構成団体として活動しました。

#### ◆環境パートナーシップやまなし

「エコライフお絵かき・川柳コンテスト 2015」に、パルシステム山梨も賞を設け、表彰式に参加しました。

#### ◆エコライフ県民運動へ参加

山梨県が進めるエコライフ県民運動の主旨に賛同し、各センターを「リユースびん」、フェアトレードショップ「ぱるはぴ」を「リユースびん」「マイバック」の推進店として登録しています。

#### ◆やまなしエコネットワーク

引き続き事務局を担い、環境市民オンブズマン活動・環境セミナーなどの取り組みに協力しました。

#### ◆第 17 回ライトダウンやまなし 2015

2015 年 11 月に実施された「ライトダウンやまなし」に、引き続き実行委員会へ参加し、消灯呼びかけやイベントの実施に協力しました。

#### ◆広がれ！小瀬エコスタジアムプロジェクト

実行委員会へ参加し、甲府市小瀬のスタジアムを“環境山梨”的シンボルに、と活動しています。環境クイズを中心にエコブースの運営協力、スタジアムでのゴミ計量（5 月、8 月、10 月）等を実施しました。

#### ◆各種会議・イベントへの参加

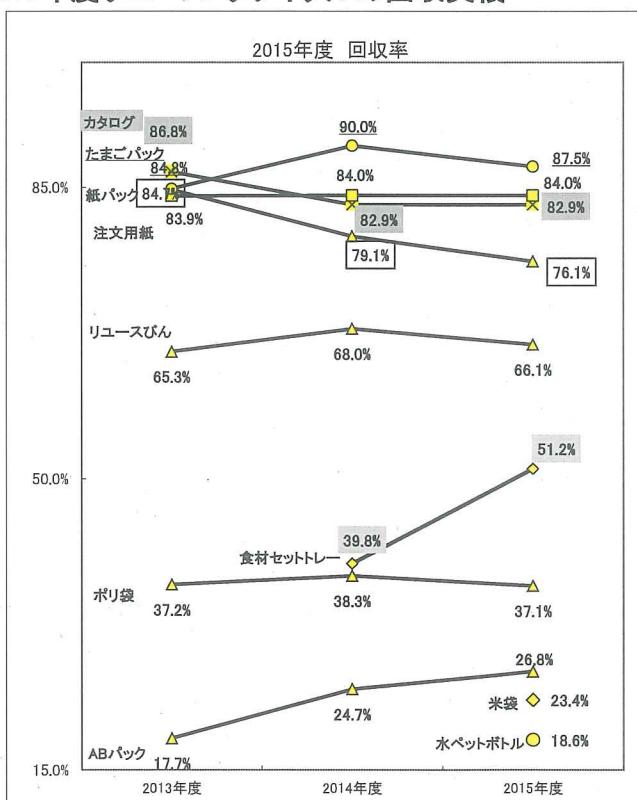
甲府市温暖化対策地域協議会、中央市温暖化対策地域協議会、都留市温暖化対策地域協議会、やまなし木質バイオマス協議会等に参加しています。また甲府市環境リサイクルフェア、県民の日記念行事など環境イベントにも積極的に参加しました。

## 2015年度電気、車両燃料、ガス、水道の実績

[電気、車両燃料、ガス、水道の実績]



## 2015年度リユース・リサイクルの回収実績



## 2015年度回収率

	2013年度	2014年度	2015年度
リユースびん	65.3%	68.0%	66.1%
紙(牛乳)パック	84.7%	79.1%	76.1%
ABパック	18.8%	24.7%	26.8%
商品案内(カタログ)	86.8%	82.9%	82.9%
注文用紙	83.9%	84.0%	84.0%
ポリ袋	37.2%	38.3%	37.1%
たまごパック	84.8%	90.0%	87.5%
食材セットトレー		39.8%	51.2%
米袋			23.4%
水ペットボトル			18.6%

## リユース・リサイクルにおける行政費用の削減効果(推計)

	回収重量 kg	資源化費用削減額 円
リユースびん	25,245	1,231,158
紙(牛乳)パック	17,760	866,142
ABパック	3,189	155,525
カタログ	607,074	29,606,532
注文用紙	13,126	640,145
ポリ袋	13,579	662,237
たまごパック	19,531	952,512
食材トレー	56	2,734
米袋	507	24,716
水ペットボトル	75	3,677
合計		34,145,377

パルシステム山梨で組合員さんから回収したリユース・リサイクル容器や包材の回収重量をあわせて、行政で一般廃棄物として処理した場合の費用を掲載しています。自前でリユース・リサイクルすることで、行政の一般廃棄物処理に係る費用(私たちの税金)のうち、2015年度は約3,414万円相当を削減した、と推計されます。

※ごみ処理用に対するごみ処理費用は、48.77円/kg  
(参考資料:環境省「日本の廃棄物処理 平成26年度版」)